

## 第3学年 道徳学習指導案

※ 本授業は、キャリア教育の研究の視点「俯瞰力」の育成を目指し授業を展開するものである。困難に出会った時、途中であきらめたり、投げ出したりしないために自分とどう向き合っていけばよいのかを本教材を基に友達との意見の交流を通して深く考えさせていく。

日時 平成30年11月15・16日  
対象 3学年全生徒 151人  
指導者 校長 中村 克己

1 主題名 強い意志をもって A(4)：「目標を目指し、やり抜く強い意志を持つ」

2 資料名： 「西山先生へ」(学研 中学生の道徳 かけがえのないきみだから 3年)

3 主題について

(1) 主題設定の理由

人間としてよりよく生きるには、自分自身で適切な目標や希望をもつことが大切である。「目標」には、必ずしも生涯をかけて達成するといった遠大なものだけでなく、身近で日常的な努力によって達成できるものもある。日常生活の中のほんの小さな目標であっても、それが達成された時には満足感を覚え、自信と勇気が起こるものである。このような達成感は、自己の可能性を伸ばし、人生を切り拓いていく原動力となり、次のより高い目標に向かって努力する意欲を引き起こすことにもつながる。このことを積み重ねる中で、人生の理想や目標を達成しようとする強い意志が養われ、生きることへの希望も育まれてくる。

中学生のこの時期は、自分の好むことや価値を認めたものに対しては意欲的に取り組む傾向にある。また、希望と勇気を持って生きる崇高な生き方に憧憬を持つ時期でもある。しかし、困難な出来事に直面すると簡単に挫折しものごとを諦めてしまうこともあり、理想どおりにいかない現実には悩み苦しむこともある。更に、予測不可能な変化の激しい社会であることから、この時期の中学生にとっては自分の将来に向けて目標を立てにくい状況にもあると言える。

本資料は、中学時代に、部活動に励む先輩の姿に憧れ入部したものの日々の練習のきつさや他の部員との技術レベルの違いに自信を失い、少しずつ部活動から足が遠のき始めた頃、顧問の先生が、部活動日誌に記した「夏目漱石の言葉」に心を打たれ、これまでの自分自身と今一度正面から向き合い、己の姿や考え方を振り返り、その後、再び前に進み始めるというものである。

顧問の先生は、主人公の苦しみ悩む姿に、何かを感じてほしいと願い、直接声を掛けるのではなく部活動日誌にその思いを記したものである。

主人公の「わたし」は、この状況は自分にとってよくない状況であると分かっているもののどうしてよいのか分からない狭い世界の中に閉じこもってしまっていた。その状況から抜け出させるために顧問は、夏目漱石の「理想」という詩を引用し、「わたし」にももの見方を変えさせ、視野を広げさせ、閉じこもっていた狭い世界から解放させた。

本時では、これから先も出会うであろう困難な出来事に、すぐにあきらめたり、投げ出したりせず、一度立ち止まり、自分の今居る位置を確認させ、今努力していることは「一体何のためにしているのか」、「この努力が今後どうつながるのか」など、ものごとを俯瞰的に捉え、新たな力強い一歩を踏み出す強い意志と勇気が大切であることに気付かせたい。

さらに、あきらめず、最後までやり抜くことを経験することで達成感や成就感を味わい、それが自信と誇りにつながり、再び出会うであろう困難に対する強い心の支えとなることに気付かせたい。

本学級の生徒は、明るく素直で、規範意識は高いが、人間関係は固定化されがちであり、自分の意見や考えを述べたり、討論したりすることに苦手意識を持っている生徒が多い。また、進学に関

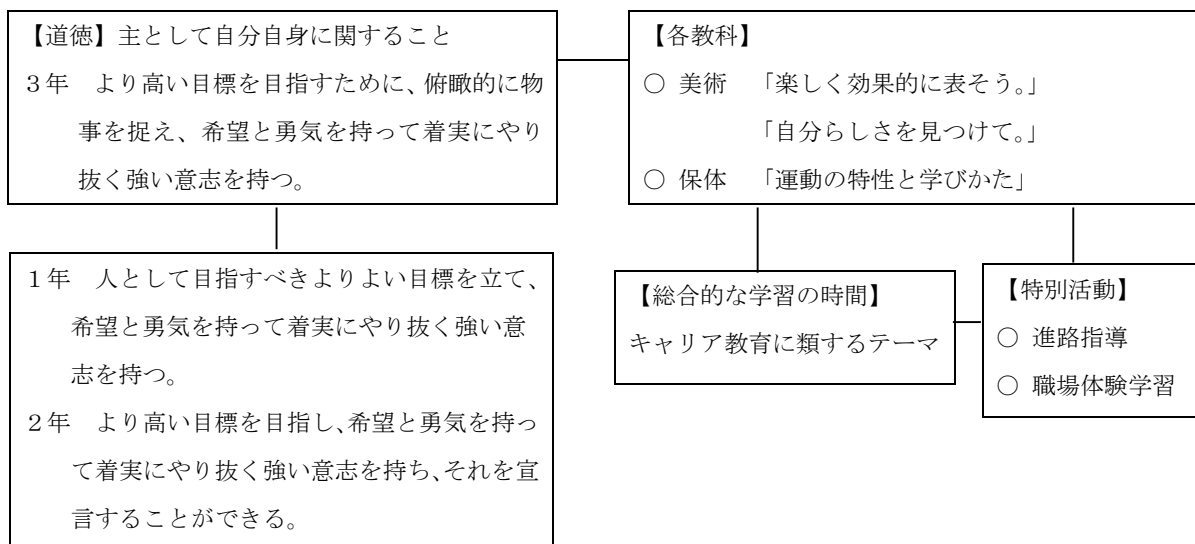
して、本市には公立高校や私立高校など多くの学科をもつ高等学校があり、生徒にとって恵まれた環境にある。しかし、進路選択に当たり、将来の夢や就きたい職業に向け深く考えた進路選択になっていない生徒も多く見られる。

また、学校行事や学級活など決められた活動に対しては、精一杯取り組んでいるものの、自分が得意でないものや取り組む中でうまくいかなかったものに関して途中であきらめたり、投げ出したりしてしまう生徒もいる。このような姿は、普段の授業の中での学習活動においてもよく見られる。

そこで本時では、本教材や資料等を活用しながらこれまでの生活の中で目標を達成した経験を振り返らせたりすることで、達成できたときの達成感や成就感を思い起こさせるとともに、なぜ途中で投げ出したり、諦めたりするのかについて深く考えさせたい。また、目の前にある小さな目標からこれから先の夢や将来への目標を持つことは、日々の生活を充実することにつながることに気付かせたい。

そのためには、今何のために努力しているのかを、広い視野に立って、ものごとを正しく判断し、目標を実現するための諸条件を検討しながら希望と勇気を持って実行する（俯瞰力）とともに、困難に屈しないで粘り強く最後まで着実にやり抜く強い意志と勇気や態度を育てたい。

(2) 他教科・領域との関連

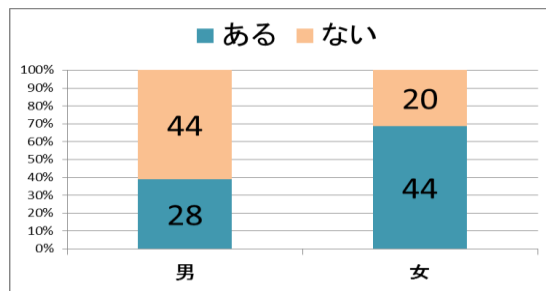
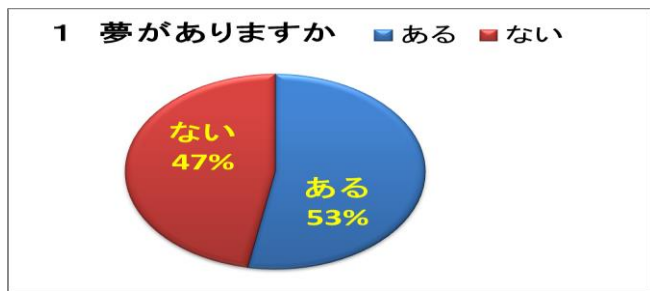


4 生徒の実態

(1) アンケート結果

- ・ 調査対象 3年全クラス (男子72人 女子64人 計136人) 回答率90%
- ・ 調査実施日 平成30年10月末

1. 今、あなたには夢がありますか。(それは何ですか。)



<男子 28 人 : 39%>

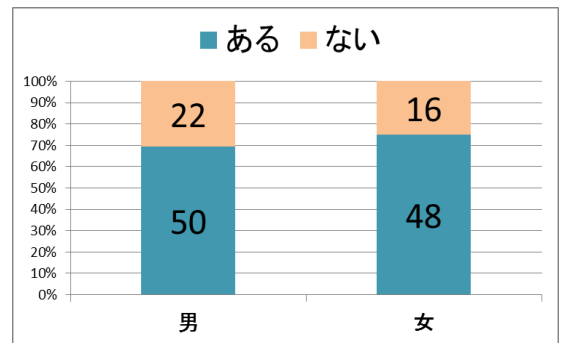
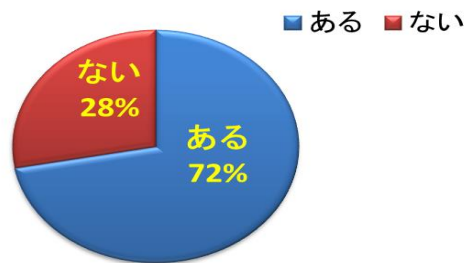
○ 教師 (3) ○ 薬剤師 (2) ○ 情報系の仕事 ○ プログラマー ○ SE、プログラマー、ホワイトハッカー ○ コンピューター関係 ○ スポーツ関係 ○ プロサッカー選手 ○ 野球選手 ○ インストラクター ○ 獣医師 ○ 歯科医 ○ 理学療法士 ○ 検察官 ○ 皇室の白バイ警官 ○ 自衛官 ○ 消防士 ○ 工業に携わる仕事 ○ 農業に携わる仕事 ○ 大工 ○ 建築士 ○ 航空整備士 ○ 社長 ○ 会社員 ○ 漫画家

<女子 44 人 : 69%>

○ 保育士 (7) ○ 看護師 (7) ○ 警察官 (2) ○ 薬剤師 ○ 医療事務 ○ 作業療法士 ○ 助産師 ○ 社会福祉士 ○ 服飾関係 ○ 美容師 (3) ○ インテリア関係 ○ 料理関係 ○ パティシエ ○ 管理栄養士 ○ 教師 ○ 子供に関わる仕事 ○ 英語関係 ○ 建築家 ○ 外交官 ○ 漫画家 ○ 声優 ○ アナウンサー ○ 自分の店をもつ ○ 生き物にかかわる仕事

2. 今までに自分で目標を決め、それに向けて最後まで努力し、その結果、目標を達成した経験がありますか。

2 目標を達成したことがあるか。



○ どんな目標でしたか

<目標男子>

○ 部活で優勝 ○ 部活動九州大会出場 ○ 部活動地区大会で2連覇 ○ 部活動九州大会出場  
○ 部活動地区大会で2連覇 ○ テニスで九州大会出場 ○ 試合で活躍 ○ 部活動の練習、レギュラー争い ○ 高飛びで1.25m飛ぶ ○ 体育大会優勝 ○ 持久走の順位 ○ 持久走大会10位以内 ○ 合唱コンクールの成功 ○ 勉強やテストの成績、順位を上げること ○ テストで○点以上 ○ テストの成績を上げる。 ○ 模試でA判定 ○ 苦手な教科に挑戦する。 ○ テスト前1日6時間勉強 ○ 英検2級取得 ○ 習い事で優勝

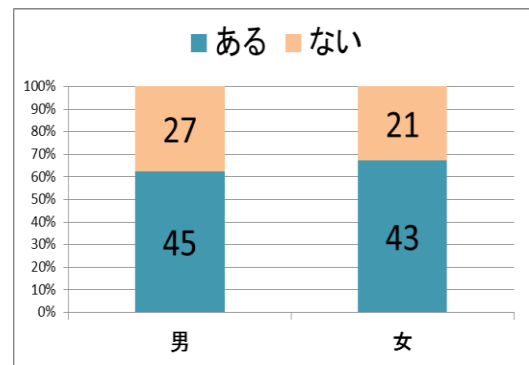
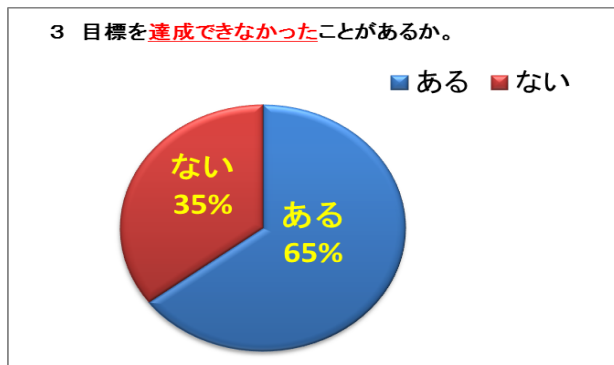
<目標女子>

○ 部活動で優勝 ○ 部活動九州大会出場、地区大会上位 ○ 部活動県大会でベスト8 ○ テニスで1位 ○ 部活の試合で活躍 ○ 陸上で自己ベスト(大会入賞) ○ 部活でスタメン ○ コンクールで金賞 ○ テストの成績を上げる。 ○ テストで450点以上 ○ 英語のテスト90点以上 ○ 英検で準2級合格 ○ 持久走大会上位 ○ 縄跳び(二重跳びで30回)  
○ 一輪車に乗れる。(小学生) ○ 一輪車で冬休みまでに乗れる。  
○ 踏破隊で70km歩く

○ 達成したときの気持ちはどうだったか。

○ うれしかった。 ○ 気持ちよかった。 ○ やり切った。 ○ うれしくて叫びたくなった。 ○ 最高の気分。 ○ 興奮した。 ○ すがすがしい ○ 充実感・達成感 ○ 頑張ったな「自分」 ○ ほっとした。 ○ 今までの努力が報われた。 ○ 頑張ったことが達成につながった。 ○ がんばって、練習してよかった。 ○ 3年間続けてよかった。 ○ やればできる。 ○ あきらめないでよかった。 ○ 自信が付いた。 ○ これからも頑張ろうと思った。 ○ もっと上を目指したい。

3. 今までに自分で目標を決め、それに向けて最後まで努力し、その結果、目標を達成できなかった経験がありますか。



○ どんな目標でしたか

- <目標男子 45人>
- 県大会優勝、球種大会出場、全中出場
  - 部活県ベスト8
  - バスケットの得点
  - 陸上で高タイム
  - 部活で育英館、東市来に勝つこと。
  - 駅伝で13分台で走れなかった。
  - トレセンへの希望
  - 持久力を上げること。
  - テスト上位。
  - テスト450点以上
  - テストの偏差値を10上げること。
  - 合唱コンクール、クラスマッチ、体育大会
  - 徒競走1位
  - 足が速くなること。
  - 英検2級合格
  - 朝早く起きる。
  - やせること。
  - 夜にしないといけないこと。
- <目標女子 43人>
- 部活動で優勝
  - 大会でベストタイム
  - コンクールで金賞
  - 陸上でタイムアップ
  - 部活動でAチームに入る。
  - 水泳でよいタイム
  - 水泳で50mフリーで30秒台
  - 体育大会で優勝
  - 持久走大会で20位以内
  - 合唱コンクールで九州大会
  - 部活動の朝練
  - 毎日走る
  - 定期テストで20位以内に入る。
  - テストで50番以内
  - テストの勉強
  - 英検2級
  - 英検取得
  - 学校を休まないこと
  - スマホを触らず勉強
  - 分からないことを聞く。

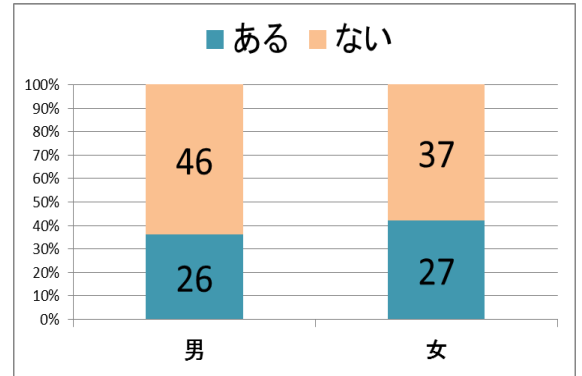
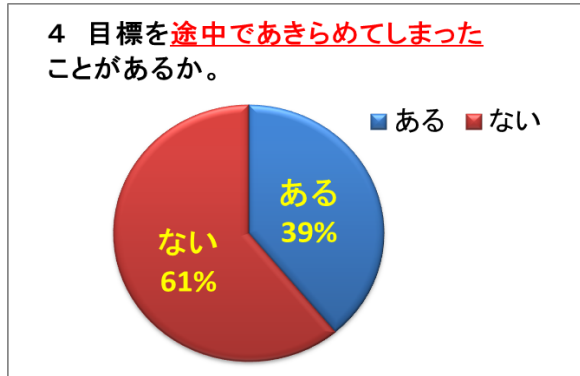
○ そのときの気持ちはどうだったか。

- 悲しかった
- 悔しかった。
- ショック
- 言葉が出ないほど落ち込んだ。
- 苦しかった。
- 喪失感
- 自分では無理か。
- 「ああ〜」って感じ。
- ……って感じ。
- やっぱりか〜。
- モチベーションが下がった
- あと少しだったのに。
- もっと頑張れたのに。
- もっと頑張ればよかった。
- 後悔した。
- 気持ちが弱かった。
- マイナス発言をした。
- 残念と納得。
- やりきったと思った。
- 悔いはない。

○ 原因や理由は何だと思うか。

- 努力不足
- 練習不足
- ミス
- けが
- 連戦に耐えられるだけの体と体力でなかった。
- 練習を休むことが多かった。
- さぼったから。
- 眠さに負けた。
- 体力が落ちていった。
- ゲームをしていた。
- 日頃の練習態度。
- 体調管理不足
- 寒かった。
- 食べ物があつた。
- 周りの人も頑張った。
- 団結力不足。
- チームワーク不足
- 途中であきらめてしまった。
- もういいやと思った。
- 気持ちばかりで行動が伴っていなかった。
- 自分に厳しくなかった。
- 気持ちが緩んでいた。
- 最後に負けそうと自分で思った。
- 自分のプレーに自信をなくす。
- 負けてしまうことばかり考えた。
- 自分の弱さ。
- 気持ちの高まり不足。
- 面倒くさいと思った。
- 感謝の気持ちが足りなかった。
- 目標が具体的でなかった。
- 日頃の行い。
- 夜更かし
- 聞く勇気がなかった。

4. 今までに自分で目標を決め、それに向けて努力していたが、途中であきらめてしまったことがありますか。



○ どんな目標でしたか。

- <目標男子 26人>
- 部活動 ○ 試合に勝つ ○ テニスを続けること。 ○ スポーツのむずかしい技
  - 鉄棒の逆上がり。○ 縄跳びの練習。○ 体力づくり ○ 持久力を上げる。
  - 毎朝走る。 ○ 足が速くなること。 ○ 毎日40～50分走る。
  - 勉強を頑張る。 ○ 毎日3時間勉強する。 ○ テストで人に勝つ
  - 合唱コンクールの成功。○ 夏休みに宿題を早めに終わらせる。
  - 多くの本を読むこと ○ 自分の漫画
  - 人に優しくすること。○ ダイエット ○ お金を貯めてほしいものを買う。
- <目標女子 27人>
- 部活動練習 ○ 部活でスタメン ○ 部活をやめようとした。○ 英検合格
  - 音楽に関することを独学で学ぶ。 ○ 勉強を毎日する。 ○ 苦手教科の克服
  - 模試でB判定 ○ 志望校に行くこと○ 夏休みの勉強 ○ 体力づくり
  - 毎日走る。 ○ 毎日トレーニング ○ 持久走大会の順位 ○ 陸上朝練習
  - ピアノの練習 ○ 珠算の九州大会入賞

○ その時の気持ちはどうだったか。

- くやしい。 ○ 失敗した。 ○ いやだ。 ○ 残念。 ○ 罪悪感。
- 苦しかった。 ○ もやもや○ 不安。 ○ やめたい。○ 自分に失望、今まで協力してくれた周囲の人に申し訳ない。○ 情けない。○ やってしまった。
- 後悔のみ。 ○ もうだめかも知れない。○ 疲れた。 ○ もういいか。
- あほらしい。 ○ 今さら無理。 ○ 仕方ないか ○ もうどうでもいい。
- もうしなくていいと思うとうれしい。 ○ もったいない。 ○ あきらめなければよかった。 ○ 自分の弱さに負けた。○ さぼって申し訳ない。 ○ 周囲の人に申し訳ない。 ○ まだ大丈夫。

○ あきらめた原因や理由は何だと思うか。

- いらっとしたから。○ きつかったから。○ 疲れがたまっていたから。 ○ やる気がなかった。○ 勉強が嫌いになった。○ 外が寒かった。 ○ 勉強で忙しかった。
- 体が思うように動かなかった。 ○ 集中できなかった。 ○ 心の乱れ。
- 他のことに夢中になった。 ○ 受験で時間が足りなかった。 ○ スランプにはまってしまって抜け出せなかった。 ○ 自分が怠けた。 ○ 後回しにしよう。 ○ 学力が足りなかった。 ○ 親がごちゃごちゃ言ったから。 ○ みんなが練習しなかった。
- むずかしいと諦めた。 ○ 自分がダメだと思ったから。 ○ 逃げたかったから。
- 途中で無理だと思ったから。 ○ 自分の限界を感じたから。 ○ 自分には無理(あきらめ)。 ○ 自分で限界をつくった。○ 自分に自信がもてなかった。 ○自分にはできると信じるができなかった。 ○ 目標を軽く考えていた。
- どんなに頑張ってもできなかった。 ○ 他の人(先輩等)との距離(レベルの差)を感じたから。○ 受験のためにあきらめた。 ○ お金を貯めるのに疲れた。

5. 目標に向けて努力することを途中で「あきらめてしまわない」ようにするために大切なことは何だと思いますか。

- 頑張っって何でもする。 ○ 前向きに考えること。 ○ あきらめないこと。
- 最初からあきらめず、目標を立てる。 ○ できるまで努力を ○ 夢をあきらめなければ絶対叶うと信じる。 ○ いつも目標を頭の中で考えながら生きる。
- その気持ちを強く持つ。 ○ 目標を立てた理由を思い出す。 ○ 自分なら出来ると思ふ。 ○ 「限界だ」という時は、原点に戻り、目標を思ふ理由を思い出す。
- 出来る範囲で目標を立てる。 ○ 周囲のサポート、応援をもらう。 ○ 誘惑に負けない自分の意志をもつ。 ○ ハードルを最初から高くせず、できることから始める。
- 心構え。 ○ やるだけやってあきらめるのではなく、自分の弱さにかまけて何もしないのは甘えているだけである。 ○ 強い精神力と自分の未来をポジティブに想像する。
- 習慣になるまで継続する。 ○ 目標を見失わないようしっかりと計画を立てる。
- 小さいことからコツコツと。 ○ 自分に負けないこと。 ○ 途中で自分にご褒美を。
- 誰かと一緒に頑張る。 ○ 時には休憩したり、途中で調子に乗らないよう気を付ける。
- いきなり高い目標を立てない。 ○ あきらめない気持ちを持つこと。
- 先（成功）のイメージをもつこと。 ○ 物事をポジティブに考えること。
- 自信をもって何度でも挑戦すること。 ○ 目標をはっきりもち、継続する。
- 強い精神力をもつ。 ○ 熱意・集中力 ○ 興味あるものを大切にする。
- 日々努力。 ○ 他者から言われたことでなく、自分で進んでしたういと思ふことを目標にする。 ○ 最初から頑張りすぎない。 ○ 何事もくじけない。
- 常に前向きで。 ○ 目標だけを決めて満足しない。 ○ 目標を具体的に書き、毎日確認する。 ○ 感謝の気持ちを忘れない。 ○ 自分のやる気次第。 ○ 我慢強さ。
- 小さいことからコツコツと。 ○ 一生懸命頑張る。 ○ 「絶対する。」という強い気持ちを持つ。 ○ 後悔してしまうと思ふこと。 ○ 目標を高く設定し、緊張感をもって努力すること。 ○ 目標を低く設定し、少しずつレベルを上げていく。 ○ 自分のペースで少しずつ。 ○ 紙に目標を書いて見るところに貼る。できることを沢山努力する。 ○ 常に頭の中に入れておく。先のことを考えてみる。将来のために成功を思い浮かべる。 ○ 結果が実った時のことを考えて、その気持ちを保つ。 ○ 他人（こと）などは気にしない。 ○ 同じ目標を持つ仲間と協力し、励まし合う。 ○ 自分を信じる。努力を信じる。何度でも挑戦してみる。 ○ あきらめないこと。 ○ ほしいものを買うために努力する。（自分へのごほうび） ○ 強い意志 ○ 小さな目標を多くつくる。
- あきらめない。 ○ 最初から続けられるものを考える。 ○ 他と比べない。 ○ くじけそうになった時に「自分がどうしたいのか」をよく考えること。 ○ その目標に近づくために努力し続け、目標を達成した時に「がんばってよかった。」と思ふくらい今頑張ることが大切。
- 目標を紙に書いて部屋の至る所に貼ってそれを見て声に出して読む。そして気持ちを高める。 ○ あきらめたらそこで試合終了 ○ 明確な目標を立てる。まずは、できそうな目標から取り組む。 ○ 強く思ふこと。 ○ 誰にも負けない強い心をつくる。
- していることを楽しんでやる。 ○ しっかりと自信をもち「できる」と言い続け、失敗してもくじけないこと。 ○ 毎日続けること。 ○ 自分を信じること。 ○ 絶対に成し遂げると強く思ふこと。自分の夢は何かを改めて考えること。 ○ 弱気にならずとにかく強気でいること。油断しないこと。 ○ 目標を軽い気持ちできめないこと。じっくり考えること。 ○ 無茶な目標を立てないこと。 ○ あきらめない強い気持ちをもつこと。 ○ 今までの自分がその目標に向けて頑張ってきたことを振り返る。
- 良いとき、悪いときを受け止める。悪くても続けることが1年後、2年後に結果として出てくる。そう信じること。

## (2) 考察

アンケート1の結果から、約半数の生徒が夢があると回答している。しかし男女別に見ると、男子生徒が40%、女子生徒が70%と女子生徒の方が夢をもっている生徒が多い。女子生徒においては、「保育士」「看護師」「美容師」など、将来の職業が高校を選択する理由にもなっていることから、夢や将来の職業に対する意識が高くなっていることが理由と思われる。

今年度の本校の学校目標は「夢に向かって、粘り強く～」としているが、全国学力学習状況調査（生徒質問紙）を見ても、本校の夢をもっている生徒は、全国と比較しても低く、ここ近年低い傾向が見られる。そのため、1年生からのキャリア教育を通して、いろいろな人の夢やその夢に向かって努力した姿などを知り、夢をもつことの大切さや喜びなどを伝えていく必要がある。

また、夢や職業が決まっていない生徒に関しては、焦らず、今自分が頑張っていることが将来の夢につながっていくことを伝えるとともに世の中には様々職業があることも学ばせたい。

アンケート2の結果から、多くの生徒が目標に向けて努力し、達成できていることが分かる。今後も、目の前の小さな目標から将来に向けての大きな目標まで、目標を達成していくためには、達成に向けての努力が大切であることを自覚させ、そのために大切なことは何なのかを深く考えさせたい。

達成できなかった生徒に関しては、達成感を味わうことが少なかったために自信を失い、努力することから逃げていることも予想されることから、小さな目標の達成を繰り返えさせ、まずは自信を持たせ、達成感を味わわせることから始めたい。

アンケート3の結果から、半数以上の生徒が達成できなかったことを経験しており、できなかったことへの悔しさや後悔などを感じている。また、その原因を見てみると、自分自身の努力不足や技量や体力面を原因に挙げていたり、団結力不足やチームワークの問題などと周りに原因があると回答したりしている生徒もいた。反面、「途中であきらめてしまった。」「自分に厳しくなかった。」「負けてしまうことばかり考えていた。」「自分が弱かった。」など、自分自身の心の弱さが原因であったと振り返っている生徒もいた。

目標が達成できない理由は、人それぞれ、目標の内容によっても異なるが、大切なことは、結果を基に、しっかりと自分自身で分析し、今後の生活に活かしていくことが大切であると指導していきたい。

アンケート4の結果から、約40%の生徒が途中で、夢や目標をあきらめてしまっていることが分かる。男女の差異はなく。その時の気持ちは、「悲しかった。悔しかった。苦しかった。」というその時の辛い思いや挫折感などの回答が多かったが、中には、「あと少しだったのに。もっと頑張れたのに。もっと頑張ればよかった。」という回答もあった。今回の道徳の授業では、あきらめた後に「もっと～しておけば」ではなく、あきらめる前にどうすればよいのかについて深く考えさせたい。

アンケート5の結果から、「簡単にあきらめてはならない。」という回答が多く、誰しも、あきらめずがんばり抜くことは大切であることは十分理解していることが分かる。しかしながら、アンケート結果からも、「人間は決して強いものではない。」ことも分かっており、逃げたり、怠けたり、途中で投げ出したりすることもある。だからこそ、「そうしてしまった後の振り返り」や「そう思った時の思いとどまり」が大切となる。

今回の道徳の資料「西山先生へ」で主人公が、「なぜ、部活動から離れ、なぜ顧問の先生の言葉でまた戻って行ったのか。そして、高校一厳しいと言われていた吹奏楽部で3年間頑張れたのか。」について深く考えさせ、これから出会うであろう、困難な出来事に、簡単にあきらめないようにするためには、どうしたらよいのか、また、これからの自分の生き方にどう活かしていくかを考えさせたい。

## 5 本時

### (1) 目標

- ア これまでの自分を振り返り、夢や目標を持つことの大切さを理解できる。
- イ あきらめたり、投げ出したりしない強い心をもつために必要なことは何か考えることができる。
- ウ あきらめず最後までやり抜くことで得られるものについて考えることができる。
- エ 自分の考えを基に友達との意見の交流を通して、よりより生き方へ考えを深めることができる。

### (2) 指導に当たって

中学生のこの時期は自分が好むことに関して意欲的を持って積極的に取り組むなど、夢や希望にあふれた生き方に憧れを持つ傾向にある。

反面、これまで何かを全力で成し遂げた経験に乏しく、達成感や充実感を味わう経験が低いことから自信が持てず、自分が好まないことや初めて取り組むことなどに関しては、やや消極的である。そのため、困難な出来事や予測不可能なことにぶつかるとうすぐにあきらめたり、投げ出したりしてしまう傾向にある。

そのため、生徒一人一人に、これまでの生活や考え方を振り返らせ、これまでの取組がこれから先のことにどうつながり、今後どのように取り組んでいくことが大切なのかを深く考えさせ、新たな道筋を見いださせ、それに向けて粘り強く取り組み、自分の夢や希望、目標に向け実現するために意欲的に取り組ませよう指導する。

### (3) 本校のキャリア教育との関連

キャリア教育推進の柱として、地域人、社会人、職業人を育成することを挙げてみた。またその育成のために必要なことは人間力、発信力、俯瞰力を育成していくことであり、体験活動や学校行事等を通して、身に付けさせることが重要と考えている。

本授業では、道徳の時間を通して、「俯瞰力（本時では、もう一人の自分）」を意識した目標の立て方を身に付けさせたい。

「夢や目標の実現のために全体を見渡し、適切な行動計画を立案し、実行する力」という、目標を立てる際に、「今まで、今、これから」の自分をメタ認知できる鳥の目のような視点（俯瞰）を取り入れ、過去の自分の様子を踏まえた、これからの目標を立てさせる。

本時の授業を通して、「俯瞰力を持った目標の立て方」という技術が身に付けば、夢を持った生徒がこれから先、予測不可能な困難（壁）に出会って、目標を達成し得ない状況に追い込まれても、これまでの自分を振り返り、今の努力や取組が何のためにあるのかを将来の自分と照らし合わせながらものごとを俯瞰的に捉え、今後に向けたより適切な道筋（目標）につなげることができるようになると思われる。例え途中で立ち止まったとしても、そこで深く考え、再び前へと歩き出す途生徒像を目指す。そうすることで、夢を持ち、自分の将来について深く考え主体的に活動する生徒を育てることができるのではないだろうかと考える。

### (4) 資料について

中学校の恩師に宛てた手紙を基にした資料である。部活動に励む先輩に憧れ、体を強くしたいという目標を持って始めた剣道部だったが、県大会を目指した厳しい練習に耐えられず、苦痛からさぼり始める。そんな時、部活動日誌に顧問先生が書いた夏目漱石の言葉に、強く心を打たれ、これまでの自分を振り返り、もう一度やり直す決心をし、中学校卒業まで剣道部をやり遂げた。この経験が県内一厳しい高校の吹奏楽部を3年間続けた大きな支えとなった。



なぜ、やり直す決心ができたのか、どうして顧問の先生が書いた言葉に強く心を打たれたのか。  
わたしの「逃げ出したい」と思った心が「もう一度やり直したい」と変化した心の動きについて生徒一人一人がこれまでの自分の経験を振り返りながら、わたしの思いに自我関与させ、共感させることにより自己理解や人間誰しも弱い心を持っているという人間理解について考えを深めさせたい。また、友達との意見の交流を通して、多面的な思考や他者理解を深めるとともに、道徳的価値についての理解を深めさせたい。

夢や目標を達成しようと願うのは**自分**、それに向けて努力するのも**自分**、途中で弱音を吐くのも**自分**、そしてその夢や目標を途中であきらめ、投げ出してしまうのも**全て自分の心が決める**ことであることに気付かせ、途中であきらめたり、投げ出したりしないようにするためには、悩みの真っ只中にある自分の心を冷静に「俯瞰」して見ることが大切であり、その心にもう一人の自分がしっかりと向き合い、励まし、支えていくことが大切であることに気付かせたい。そして、あきらめず乗り越えた**経験（キャリア）**が更に自分自身の心を強くし、次への挑戦や成功につなげてくれるものであることにも気付かせたい。

(5) 本時の実際

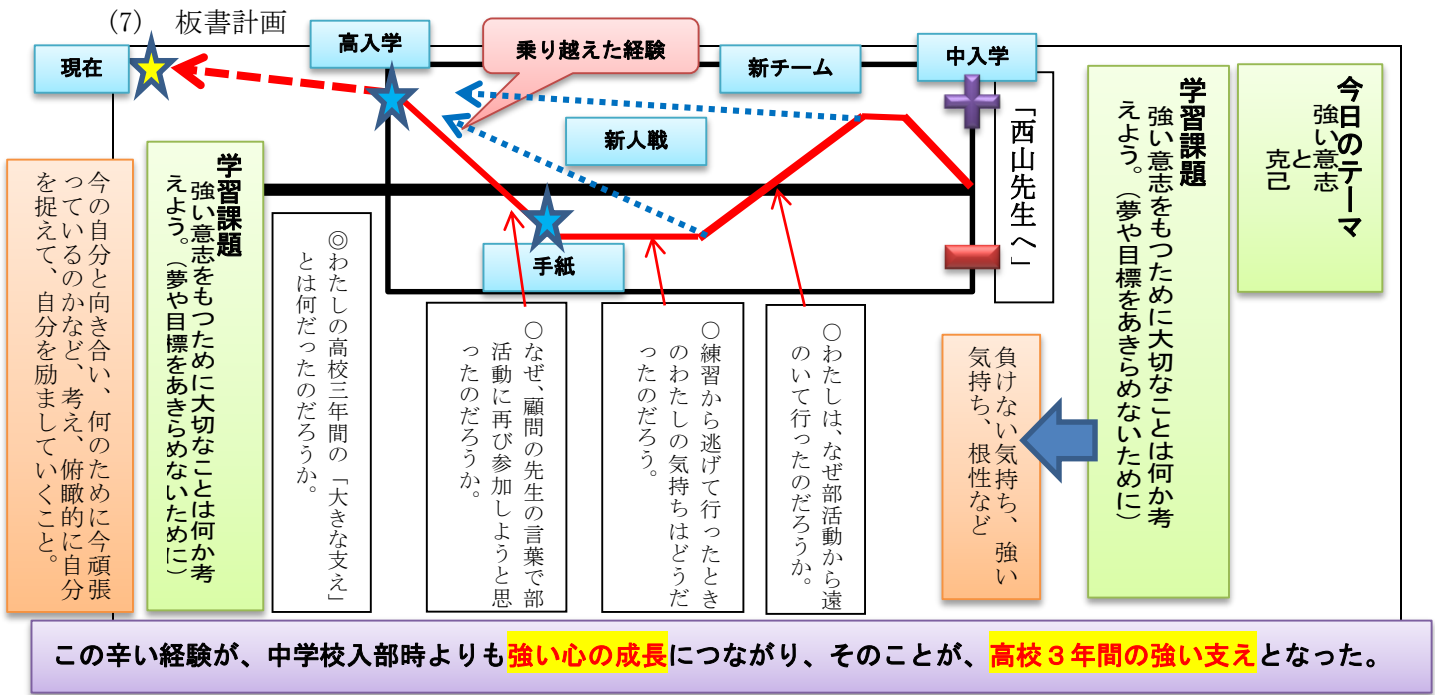
過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働掛け・ <発表形態> 『道徳的価値』 キャリア教育の視点【人間力】・【発進力】・【俯瞰力】
導入	1. アンケートの結果を知る。 ・ 多くの生徒が夢をもっている。 ・ 目標に対して努力し、達成もしている。 ・ しかし、あきら、くじけてしまっている人もいる。 <u>どうしてだろう？</u>	5	○ プレゼンを通して、事前にとったアンケート結果、「夢」をもっている人の状況や「目標の達成した経験、その時の気持ち」、「目標を達成できなかった経験、その時の思い」、さらに「目標を途中であきらめてしまった経験、その思い」などの結果を提示し、学級みんなが同じような経験や悩みをもっていることを実感させる。 <一斉>  ○ 特に、課題意識をもたせるために、あきらめたり、途中で投げ出したりした経験の中で、その原因や理由について、今一度考えさせてみる。 発：なぜあきらめてしまったのか？原因は？ <一斉> 発：あきらめないためにはどうしたらいい？ <一斉> (予想) ……負けない気持ち、強い気持ち、根性など
展開	2. 学習課題の確認する。 <b>強い意志を持つために大切なことは何か考えよう。(夢や目標を諦めないために)</b> 3. 資料「西山先生へ」を読む。 ※ わたしの心情を折れ線グラフに表示する。	2	○ アンケート結果や生徒一人一人のこれまでの経験から、夢や目標を途中であきらめてしまうのはなぜか。どうしたらあきらめないで頑張れるのかについて考えようとする意欲を高める。
開	(1) わたしは、 <u>なぜ部活動から遠のいて行ったのか</u> 考える。	8	○ 資料の内容を簡単にふれる。(ホワイトボードで説明) ○ 資料の中に、 <u>今日の課題とつながる場面があることを伝え、その部分はどこかを生徒に考えさせながら、テープを流す。</u>
	(2) <u>練習から逃げて行ったときのわたしの気持ち</u> はどうだったのか考える。	3	○ <u>練習がきつい。上達しないなど。自分の弱い心がそうさせて行ったことに気付かせる。自分たちもそのような経験がないかを振り返らせる。</u> 『自己理解』『人間理解』<個>
		5	○ 目の前のことから逃げることや目を背けることは誰しも嫌なことであることは理解している。しかし、どうすることもでき

<p>① 自分で考えをまとめる。 ・ 辛い、苦しい、後ろめたい</p> <p>② グループで意見を交換する。</p> <p>(3) なぜ、顧問の先生の言葉で部活動に<u>再び参加しようと思ったのか</u>を考える。<u>涙の意味は?</u></p> <p>① 自分で考えをまとめる。 ・ 自分で決めた目標だから</p> <p>② グループで意見を交換する。 ※ わたしの心情を折れ線グラフで表示する。(入部した頃に比べ高さはどう変わるか。)</p> <p>(4) わたしの高校3年間の「大きな支え」とは何だったのか考える。</p> <p>① 自分で考えをまとめる。 ・ 先生の言葉、自分の夢や目標</p> <p>② グループで意見を交換する。 ※ わたしの心情を折れ線グラフに表示する。(中学卒業時に比べどう変わっているか。)</p> <p>(5) 今日の学習課題、<b>強い意志を持つために大切なことは何か考える。(夢や目標をあきらめないために)</b></p> <p>① 自分で考えをまとめる。</p> <p>② グループで意見交換をする。</p> <p>(6) この資料は、西山先生に書いた手紙であるが、<u>何のために、どうして書いたのか</u>について今一度振り返って考える。</p>	<p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>2</p>	<p>ない状況にあることも理解させ、もがき苦しむわたしの気持ちに自我関与させるとともに、友達の考えを通して、誰にでもあることである他者理解、人間理解について考えを深めさせる。</p> <p>【人間力】【発信力】『他者理解』『人間理解』&lt;個・グループ&gt;</p> <p>○ 「自分が決めた目標だから戻った」という理由だけではなく、「逃げている自分が許せなかった」や「どうしたらいいのか暗闇の中におり、もがいていた自分に顧問の先生が気付いてくれた」、「自分の心の奥底にあった思いを顧問の先生が引き出してくれた。」「顧問の先生が一步踏み出す勇気を与えてくれた。」など、友達の様々な意見を通して、道徳的価値の理解を深める。</p> <p>【発信力】【俯瞰力】『他者理解』『人間理解』&lt;個・グループ&gt;</p> <p>○ 顧問の先生からの言葉だけではなく、顧問の先生の言葉を機に自分自身でこれまでの自分の生き方や考え方を振り返り、これから先の自分の生き方について深く考えることができ、その後、途中で投げ出さず、最後まで部活動をやり遂げた自信や誇りが、高校3年間の「大きな支え」につながったことに気付かせたい。(辛く苦しい経験を乗り越えることがキャリアの獲得につながることである。)</p> <p>【発信力】【俯瞰力】『他者理解』『人間理解』&lt;個・グループ&gt;</p> <p>○ 諦めそうになったり、投げ出したりしたくなったりした時に、まずは、立ち止まり、これまでの自分を振り返り、自分は何のために努力してきたのか、これまでやってきたことがこれから先とどうつながっていくのか俯瞰的に見る力を身に付けることが大切であることを感じ取らせたい。(もう一人の自分との向き合い、話合いができる人間になってほしい)</p> <p>また、乗り越えることで、自信と誇りを身に付けることができ、それが新たな強い意志へとつながることに気付かせたい。</p> <p>【発信力】【俯瞰力】『他者理解』『人間理解』&lt;個・グループ&gt;</p> <p>○ 西山先生への感謝の手紙とともに、これまでの自分を振り返り、自分が成し遂げられたことについて今一度整理し、そしてこれから先も頑張り抜きますという顧問の先生へ宣言を通して、自分自身を奮い立たせる手紙でもあることに気付かせたい。</p> <p>※ 自分たちもこれから先、自分を奮い立たせるため、また、自分の考えをまとめさせるために、自分自身への手紙(日記)を書くことも良い方法であることを伝える。</p> <p>【発信力】【俯瞰力】『他者理解』『人間理解』&lt;個&gt;</p>
<p>終末</p> <p>5. まとめ</p> <p>「克己」校長先生の名前の意味について</p>	<p>5</p>	<p>○ 人間の中には、弱い自分と「それではいけない」と考える自</p>

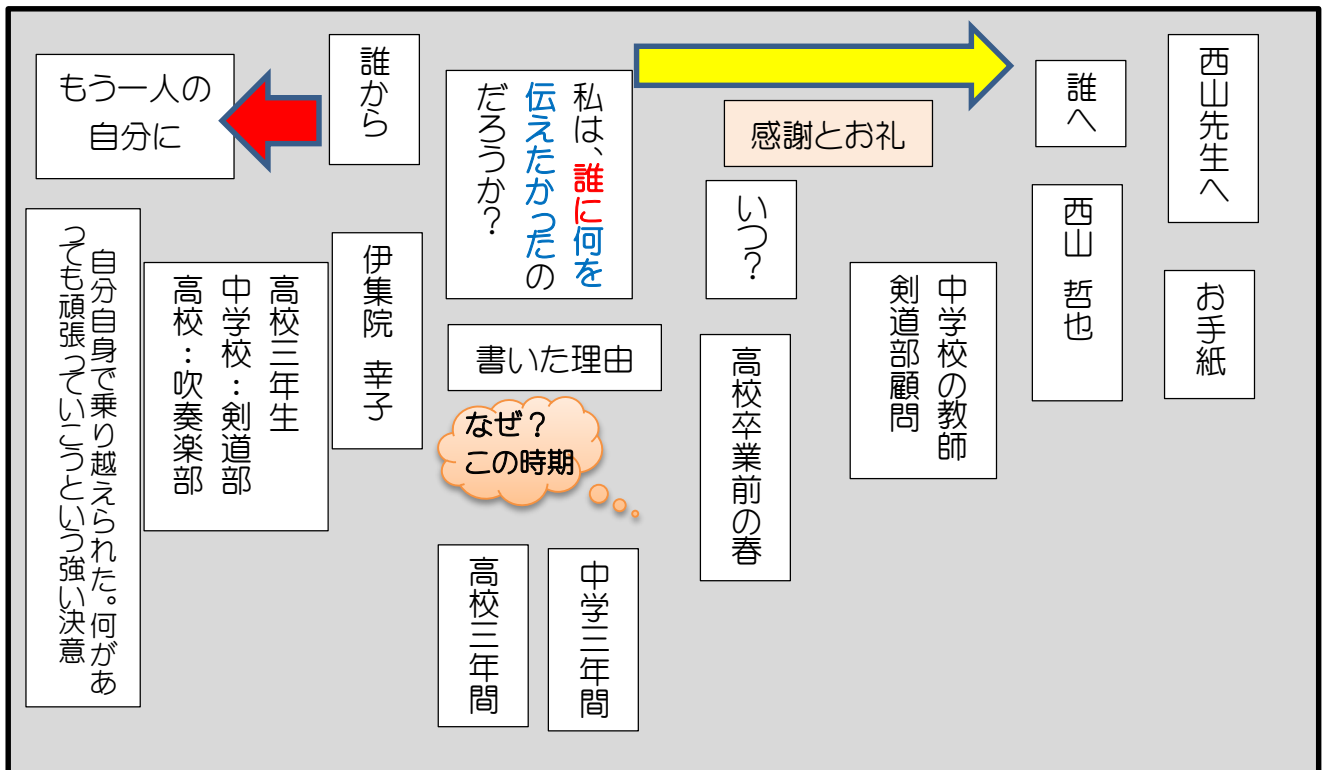
<p>○ 「克己」には、天使の「克己」と悪魔の「克己」が常にいることを伝え、親が付けてくれた名前への思いや今生きている意味を伝え、子供たちにも人生を生きるという意味を考えさせる。</p> <p>○ 授業を振り返り、教師の説話を聞く。 今後も辛いこと苦しいことがあるかも知れないが、自分自身としっかり向き合って頑張り抜いてほしいという気持ちを伝える。</p> <p>○ 今日の授業を振り返り、今後の人生にどう生かしていくか考える。(ワークシートに記入)</p> <p>① 目前の高校進学のための心構え ② 自分と向き合い方やこれから先の生き方 ③ キャリア獲得のために</p>	<p>2</p> <p>3</p>	<p>分がいる。その自分の中にいる自分と向き合い、物事を判断して行動していることに気付かせたい。</p> <p>【人間力】【俯瞰力】&lt;一斉&gt;</p> <p>○ これまでの生き方を振り返り、これから先の生き方について深く考えさせる。 ※ グループを戻す。 &lt;個&gt;</p> <p>○ 人はいきなり自分の人生を生きているわけではなく、自分が挑んだり転んだりしていくうちに、徐々に自分はこの人生を生きているんだという感覚が芽生えてくるものである。</p> <p>☆ 3年生においては、まずは目の前の大きな目標である高校進学について考えなければならない。そのためには合格という目標があり、それに向け日々努力は大切なことである。しかし、受検勉強を進める中で、諦めたり、投げ出したりしたくなることもあることも予想される。その時、今日の授業を思い出し、自分は今何のために努力し、この努力が今後の自分の人生にどうつながっていくのかについて、自分自身と向き合い、もう一人の自分が弱くなった自分に対してしっかり励ましていることが大切であることを伝えたい。 【俯瞰力】</p> <p>また、これから出会うであろう困難は自分自身をこれまで以上に成長させてくれる大切なものであることから、これまでやり遂げられたことを自信に諦めないで<u>強い意志を持って挑戦し続けてほしい</u>ことを伝える。その経験がこれから先の人生をよりよくしていくためのキャリアを磨くことにつながることも伝える。</p>
---	-------------------	---

(6) 評価

- ア これまでの自分を振り返り、夢や目標をもつことの大切さを理解できたか。
- イ 諦めたり、投げ出したりしない強い心をもつために必要なことは何か考えることができたか。
- ウ 諦めず最後までやり抜くことで得られるものについて考えることができたか。
- エ 自分の考えを基に友達との意見の交流を通して、よりより生き方について考えを深めることができたか。



シナリオ紹介 (ホワイトボード用)



# 「道徳ワークシート」～心の成長のために～

3年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

1 教材名 「西山先生へ」 (学研3年 かけがえのないきみだから)

2 今日のテーマ「 \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ 」

今日の学習課題 (道徳的価値)

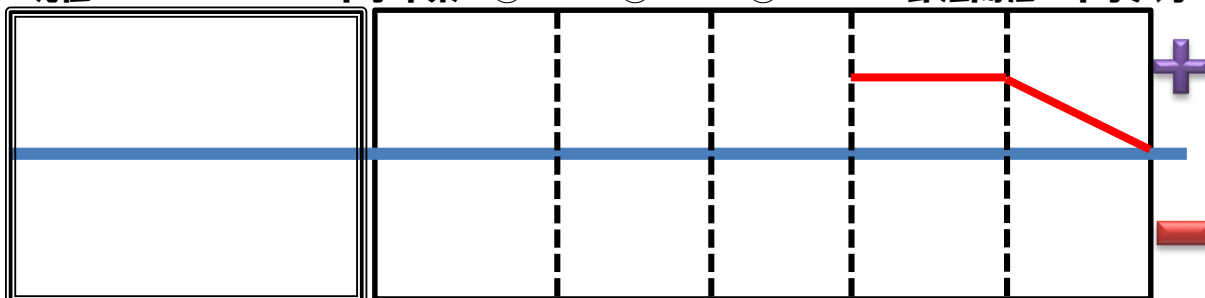
○ \_\_\_\_\_

<授業前の考え>

★<授業後の考え>

3 「わたし (主人公)」の心情の変化

☆現在 高校3年間 中学卒業 ③ ② ① 部活開始 中学入学



4 わたしの心の変容について考えてみましょう。

① 「わたしは、なぜ部活動から遠のいて行ったのだろうか。」

\_\_\_\_\_

② 「練習から逃げて行ったときのわたしの気持ちはどうだったのだろう。」

○自分の考え：

○友達の考え：

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

③ 「なぜ、顧問の先生の言葉で部活動に再び参加しようと思ったのだろうか。」

○ 自分の考え
○ 友達の考え

④ 「わたしの高校三年間の「大きな支え」とは何だったのだろうか。」

○ 自分の考え：
○ 友達の考え：

5 西山先生への手紙について（書いた目的は・・・）

--

6 自己評価

今日の授業を振り返って、自分で評価してみよう。（5：よくできた ～1：全くできなかった。）	5	4	3	2	1
ア これまでの自分を振り返り、夢や目標を持つことの大切さを理解できたか。	・	・	・	・	・
イ あきらめたり、投げ出したりしない強い心を持つために必要なことは何か考えることができたか。	・	・	・	・	・
ウ あきらめず最後までやり抜くことで得られるものについて考えることができたか	・	・	・	・	・
エ 自分の考えを基に友達との意見の交流を通して、よりよい生き方について考えを深めることができたか。	・	・	・	・	・

○＜参考＞ 「宇宙兄弟」の六太が言ったセリフ、に入るセリフは？

「俺の敵は（ ）。」 「俺の味方も（ ）。」
------------------------

